

ドックラーNA-SL形

⚠ 施工上のご注意

本製品を使用する前に、必ず本説明書をお読みいただき、正しくご使用ください。

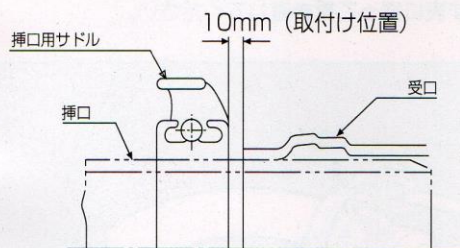
⚠ 注意： 取り扱いを誤った場合に、軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合を示しています。

■施工に際しては、本製品の特長を最大限に活かしていただくため、以下のことにご注意ください。
いただきますようお願いいたします。

■本製品はHI・SGR-ロングNA管路においてHI・SGRバンドを使う際にスラスト防護用としてお使いください。

1 パイプとサドルの間に小石や土砂をはさみ込まないようにしてください。

2 必ずパイプが標線（管端より1本目と2本目の間）まで挿入されていることを確認した後、挿口用サドルを受口から10の位置にセットしてください。

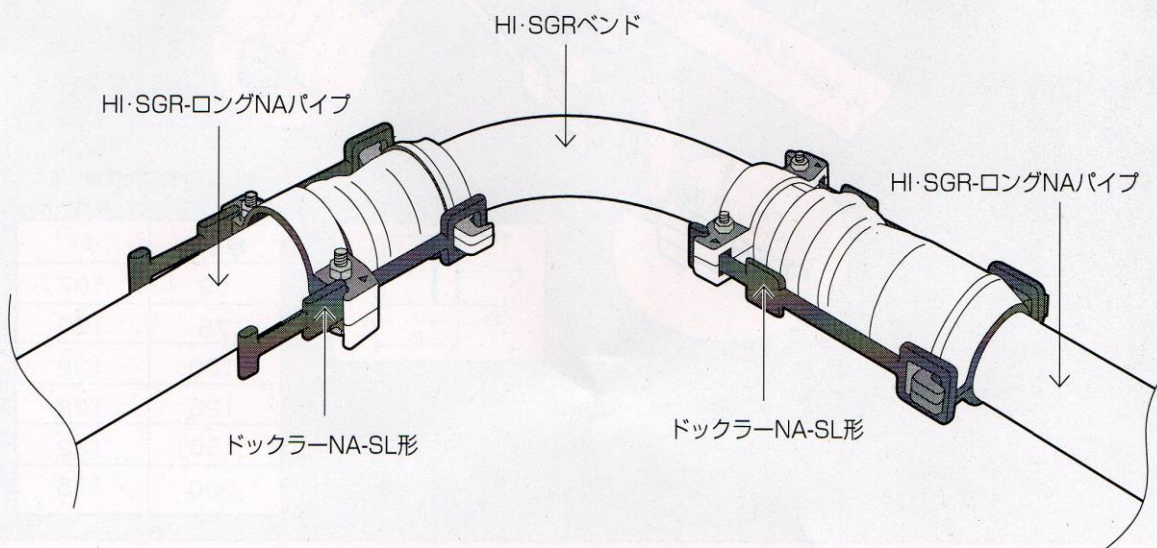


3 ボルトは、片締めにならないように交互に締め付けてください。

4 ボルト締めトルクは、下表を目安にしてください。

呼び径	ボルト締めトルクN・m (kgf・m)
50	30～40 (3.1～4.1)
75	40～50 (4.1～5.1)
100	
125	50～60 (5.1～6.1)
150	
200	70～90 (7.1～9.2)

取付図



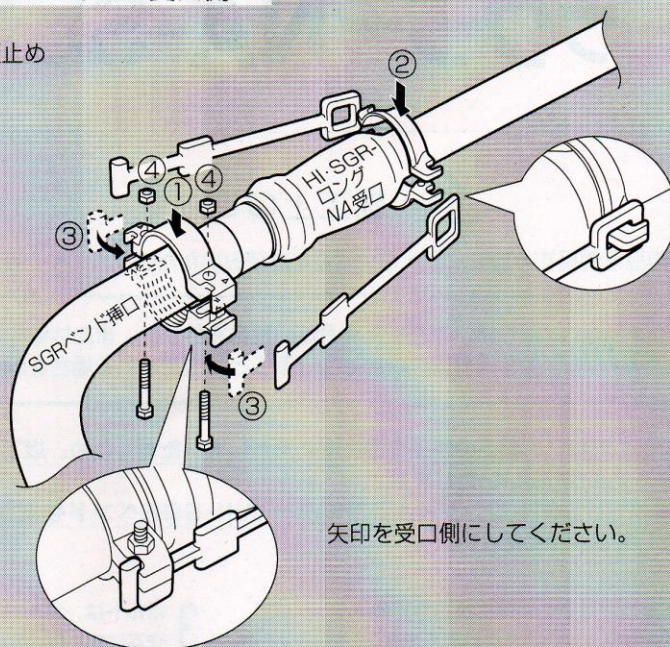
※HI・SGRバンド受口には、ドックラーNA-NV形の使用を推奨いたします。
ただし、上図のようにNA-SL形を使うこともできます。

⚠ 注意：裏面に接合手順を記載しております。

表面から続く

接合手順<HI・SGR-ロングNA受口側>

- (d) 挿口用サドルの装着と仮止め
- (e) 受口用サドルのセット
- (f) アームのセット
- (g) ボルトの本締め
- (h) 完了

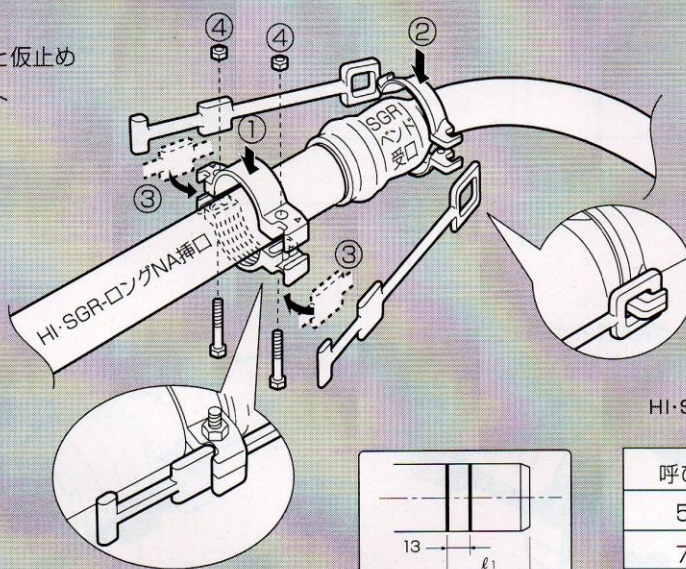


HI・SGRバンド受口側には、ドックラーNA-NV形を推奨いたします。ただし、ドックラーNA-SL形をSGRバンド受口側に取り付ける際は下図をご参照ください。

その際、HI・SGR-ロングNA挿口の標線を下に示す表に従って書き直してください。

接合手順<HI・SGRバンド受口側>

- (a) 挿口標線の書き直し
- (b) 挿口用サドルの装置と仮止め
- (c) 受口用サドルのセット
- (d) アームのセット
- (e) ボルトの本締め
- (f) 完了



HI・SGR 受口用標線寸法
単位：mm

呼び径	ℓ_1
50	107
75	120
100	132
125	138
150	152
200	175

⚠ ドックラーの接合は、パイプの接合を確認してから行ってください。

株式会社 **クボタケミックス**